

《記載例》

様式第10号（第13条関係）

太字部分を記載してください。

令和6年 6月 15日

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

椎葉村長 様

法人の場合は、名称及び代表者の氏名を記載する。

【森林の所有者または造林の権原を有する者（伐採後に造林する者）】

住所 椎葉村大字下福良 1762-番地 1
氏名 森林 太郎 印
電話番号 0982-67-3111

令和5年10月 1日に提出した伐採等届出について、次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項に基づき報告します。

1 森林の所在地

椎葉村	大字下福良	字下福良	1111-2 番地
(林小班：10-ア-100)			

2 伐採後の造林の実施状況

	人工造林	天然更新
造林の方法	植栽・人工播種 その他 ()	萌芽・天然下種 その他 ()
造林(更新)期 間	令和6年4月10日 ~ 令和6年6月10日	令和6年 4月 10日 ~ 年 月 日
造林樹種・面積・本数	スギ 0.90 ha (2,250 本) ha (本) ha (本) ha (本) ha (本)	クヌギ
作業委託先	〇〇造林組合	
鳥獣害対策	防護ネットの設置	
備考		

【注意事項】

- 森林の所在地ごとに記入してください。
- 造林の方法欄には、人工造林の場合には植栽又は人工播種別を、天然更新の場合には、ぼう芽更新又は天然下種更新の別を記入してください。
- 樹種は、スギ、ヒノキ、クヌギ、その他の広葉樹など、伐採する樹種が分かるように記入してください。面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入してください。
- 複数の樹種を造林した場合は、造林した樹種別に、造林面積及びの植栽本数を記入してください。天然更新の場合は、造林樹種の欄に代表的な樹種・面積を記入してください。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記入してください。
- 本報告書を提出するに当たり、現地の状況写真を2～3枚添付してください。